授業科目	**福祉政策経営特講** The Theory of Social Administration			担当教員	野田　健　実務家教員		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択

授 業 の ね ら い

本授業のねらいは、戦後、福祉政策が社会情勢の変化に合わせどのように展開してきたのか、そして、変化していく福祉政策がとりわけ社会福祉法人の福祉施設やサービス事業所の運営、経営にどういった影響を与えたかを理解することにある。また、特に人材の不足、離職の問題、施設内虐待等の福祉事業所に関わる社会問題の解決策を検討するため、人的資源管理、組織行動の基礎理論について理解することにある。以上2つのねらいをもって、地域社会の多様な課題に対応でき、また社会福祉の実践において指導的立場で活躍できる資質・能力の向上を図る。

観点	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標	評価手段・方法	評価比率
関心・意欲・態度	福祉政策やその影響を受ける福祉事業所の課題について関心を持ち、積極的に情報を収集したり、議論に参加できる。	授業への参加姿勢	25%
思考・判断	社会の情勢を理解し、福祉政策や福祉事業所経営の課題を分析し、改善策を検討することができる。	ディスカッション レポート	10% 15%
技能・表現	福祉政策や福祉事業所経営の課題について自分の意見を根拠持って伝えることができる。	プレゼンテーション	25%
知識・理解	福祉政策の動向や福祉事業所経営の課題、人的資源管理、組織行動の理論を説明することができる。	ディスカッション レポート	10% 15%
出　席			受験要件
合　計			100%

評価基準および評価手段・方法の補足説明

授業中のレポート発表やディスカッション、参加意欲や発言内容等を以下とおり総合的に評価し、随時授業内でフィードバックを行っていく。

・授業への参加姿勢（25%）：授業中の姿勢・態度を評価する。
・ディスカッション（20%）：ディスカッション中の説明の仕方やそこから見える思考・判断・理解度等を評価する。
・プレゼンテーション（25%）：授業内で提示する課題に対するレポート発表（第7・14回）を通じて評価する。
・レポート（30%）：レポートは定期（第7・14回、期末）時に提出を求める。レポートの内容をもって評価する。

授 業 の 概 要

本講義では、社会情勢の変化に伴い策定される福祉政策、及び、その政策の影響を受ける社会福祉法人、社会福祉事業所の経営、運営の実態や課題、人的資源管理や組織行動の基礎理論について講義を行う。適宜、受講生に問題提起し、ディスカッションを実施し、講義内容の理解を深める。

教 科 書 ・ 参 考 書

教科書：特に指定しない。資料を配布する。
参考書：金井壽宏（1999）『経営組織』日本経済新聞社

授業外における学修及び学生に期待すること

本講義では、社会情勢の変化に伴い策定される福祉政策や、その政策の影響を受ける社会福祉法人、社会福祉事業所の経営・運営の実態や課題について理解を深めるとともに、福祉サービス事業の従事者が働きやすい事業所の組織運営のあり方について検討していく。このため、受講生には昨今の社会福祉政策の動向や人材の問題をはじめとした社会福祉事業所に関わる社会問題について関心と自分なりの考えを持って受講してほしい。

回	テ　ー　マ	授　業　の　内　容	予習・復習
1	オリエンテーション	本講義のねらいと進め方について説明をする。	シラバスを読む。
2	戦後の社会福祉政策と社会福祉事業法　双方向	戦後の社会福祉政策の動向と社会福祉事業、社会福祉事業法について理解する。	戦後、福祉三法の成立時の社会情勢について予習し、社会福祉事業法について復習する。
3	高度成長期の社会福祉政策と福祉八法の改正　双方向	高度成長期の社会福祉政策の動向と社会福祉事業、福祉八法改正とその背景と概要を理解する。	福祉六法成立時の社会情勢について予習し、福祉八法改正の概要・背景について復習する。
4	社会福祉基礎構造改革と社会福祉法　双方向	社会福祉基礎構造改革及び社会福祉法の背景と概要、社会福祉法人への影響について理解する。	社会福祉基礎構造改革について予習し、その影響について復習する。
5	地域包括ケアシステムと社会福祉法人の役割　双方向	地域包括ケアシステムの概略と社会福祉法人の役割について検討する。	地域包括ケアシステムについて予習し、社会福祉法人の役割について復習する。
6	社会福祉法人改革　双方向	社会福祉法人改革の背景と概略、社会福祉法人に求められる公益性について理解する。	社会福祉法人改革について予習し、その背景と概略を復習する。
7	福祉分野における人材確保、離職の問題　双方向	福祉分野における人材確保、離職問題の実態と課題ついて理解する。	福祉分野の人材確保の困難さ、離職の問題について予習し、対応策について復習する。
8	経営理念と経営戦略　双方向	事業所の理念と理念浸透の必要性及び、経営戦略について理解する。	経営理念、経営戦略について予習し、理念浸透の必要性について復習する。
9	職務上のストレッサーと提供する支援との関係性　双方向	組織的要因の負荷が福祉サービス利用者支援にどう影響するか理解する。	組織的要因の負荷について予習し、利用者支援にどう影響するのか復習する。
10	職務上のストレッサーと離職との関係性　双方向	組織的要因の負荷が離職意向にどう影響するか理解する。	ソーシャルワーカーやケアワーカーの離職意向について予習して、対応策について復習する。
11	モチベーション　双方向	モチベーションの基礎理論を理解する。	モチベーション理論について予習し、職員対しどう活用するのか復習する。
12	リーダーシップ　双方向	リーダーシップの基礎理論を理解する。	リーダーシップ理論について予習し、自分がどう活用するのか復習する。
13	能力開発と人材育成　双方向	キャリアパスや人事考課の概略、職員研修の在り方と課題について理解する。	キャリアパス、人事考課について予習し、その効果について復習する。
14	リスクマネジメント　双方向	事業所運営におけるリスクマネジメントについて理解する。	リスクマネジメントについて予習し、その必要性について復習する。
15	事業所見学　実地	福祉事業所に見学に行き、起業、組織経営の実際について理解する。	事業所の種別、内容を事前に予習し、事業所経営の難しさについて復習する。